

福翁百餘話 (一六)

獨立者の用心 福澤 諭吉

一身一家の獨立とは西洋文明の風に従へば誠によりしからぬ事にして尋常普通人間の勤む可き勤むなれども...

開放主義今一步を 進む可し

官民の關係を破り聊か人民に近きたるは今の政府の特色にして人に接するにも自から空威張り少なきのみか...

福翁百話の四版成る

福翁百話の四版成る 初版再版三版皆數日の間に賣切れ第四版を發賣す

工場巡視記 (其十二)

京都織物株式會社 十月四日京都に於て 特派員 牛山才治郎 報告

がんとするは業務上の... 意匠の事に無関係... 空気の流通の構... 工合を知らず...

労働時間 普一... 分より午後八... 居職を割増給... 間の労働を増... 賃金及び支給...